高島高等学校 令和5年度 教科 家庭科 科目 フードデザイン 年間授業計画

教 科: 家庭科 科 目: フードデザイン 単位数: 2単位

対象学年組: 第3学年 科目履修者

教科担当者:河村

使用教科書:実教出版『フードデザイン』 使用教材:実教出版『生活学Navi』

| | 指導内容 | フードデザインの具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当時数 |
|------------------|---|--|--|------|
| 4 月 | ・食生活の問題点について考える・予算内で献立を立てる・調理実習①(和菓子作り) | ・各自の食生活を見直し、問題点について考える ・予算内で献立をたて、その献立を外食にした場合や、ミネラルが特に不足し ていることを理解する ・原料の差による調理特性の違いについて理解する ・調理実習を通して、基礎的な技術について身につける ・衛生面や安全に配慮した実習を行うことができる | ・授業態度 ・ワークシート ・実習の取り組み | 4 |
| 5 月 | ・調理実習② ③ (和食) ・日本料理の様式と献立 ・和食のテーブルコーディネート ・栄養素の働きと食事計画 (炭水化物について) | ・調理実習を通して、基礎的な調理技術について身につける ・コミュニケーションを取りながら効率的な調理を行うことができる ・白米や炊き込みご飯の炊き方・出汁の取り方を理解する ・日本料理の特徴や様式について理解する ・和食のテーブルコーディネートについて考える ・炭水化物の特徴と、多く含まれている食品の調理特性について理解する | ・授業態度・ワークシート・実習の取り組み | 4 |
| 6 月 | ・日本料理の様式と献立 ・和食のテーブルコーディネート ・栄養素の働きと食事計画(脂質・タンパ ク質について) ・調理実習④⑤(和食) | ・日本料理の特徴や様式について理解する ・和食のテーブルコーディネートについて考える ・タンバク質の特徴と、多く含まれている食品の調理特性について理解する ・調理実習を通して、基礎的な調理技術について身につける ・コミュニケーションを取りながら効率的な調理を行うことができる ・揚げ物や蒸し物の調理操作や卵や肉の調理性や扱い方を理解する | ・授業態度・ワークシート・実習の取り組み | 10 |
| 7 月 | 答案返却・1学期振り返り | | | |
| 8 月 | 夏季休業 | | | |
| 9 月 | ・夏季課題(世界の料理について)の発表 ・夏季課題をもとにした自由献立 ・調理実習⑥(中国料理) | ・各自が興味のある国の料理の特徴についてまとめ発表できる ・中国料理の食事作法や特徴を理解することができる ・調理実習を通して、基礎的な調理技術について身につける ・コミュニケーションを取りながら、効率よく調理することができる | ・授業態度・ワークシート・実習の取り組み | 6 |
| 10 月 | 調理実習①(西洋料理) ・中国料理の様式と献立 ・中国料理のコーディネート ・西洋料理のコーディネート ・西洋料理のコーディネート ・調理実習③(西洋のお菓子作り) | ・西洋料理の食事作法や特徴を理解することができる ・調理実習を通して、基礎的な調理技術について身につける ・中国料理と西洋料理の特徴について理解し、関心をもつ ・中国料理と西洋料理のマナーや食具について理解する | ・授業態度・ワークシート・実習の取り組み | 6 |
| 11 月 | ・行事食について ・調理実習の栄養価について ・調理実習⑨ (おせち料理) ・調理実習⑩ (クリスマス料理) ・2学期期末考査 | ・行事食や込められた意味を理解することができる ・調理実習の内容について栄養価の面で考えることができる ・調理実習を通して、基礎的な調理技術について身につける ・調理理論や調理操作について理解する ・コミュニケーションを取りながら効率よく調理を進めることができる | ・授業態度・ワークシート・実習の取り組み | 4 |
| 12月 | 答案返却・ 2 学期振り返り | | | |
| 1 月 | ・供応食について・フードデザインまとめ | ・供応食について考える・招待状やテーブルコーディネートや献立について考える | ・授業態度・製作物 | 2 |
| 2 月 3 月 | | | | |